

**A6. Peut-on adapter les fiches pédagogiques des cours à partir du « Référentiel pour l'enseignement et l'apprentissage du français langue étrangère au Japon » ?**  
学習指導案を共有するー『フランス語の学習指針』に基づく授業の指導案

**NOZAWA Atsushi 野澤 督(Université Daito Bunka 大東文化大学)**

**TAKEI Yuki 武井由紀**

**(Université des langues étrangères de Nagoya 名古屋外国語大学 )**

**SUGANUMA Hiroko 菅沼浩子**

**(Lycée de l'Assomption Kokusai アサンプション国際高等学校)**

**MOGI Ryoji 茂木良治(Université Nanzan 南山大学)**

**MATSUKAWA Yuya 松川雄哉(Université Nanzan 南山大学)**

**NAKANO Shigeru 中野茂(Lycée de l'Université Waseda 早稲田大学高等学院)**

**YAMADA Hitoshi 山田仁(Hachette Japon アシエット・ジャポン)**

**Niveau : DELF A1-B1**

**Langue : japonais**

**Mots clés :** 授業設計、学習指導案、学習指針 élaboration des cours, fiche pédagogique, référentiel

2016年4月から、発表者らは日本のフランス語教育における具体的な教育内容や到達目標、評価方法等の指針となる学習指標の策定作業に取り組んでいる。文部科学省の平成29年度「外国語教育強化地域拠点事業（英語以外の外国語）」、平成30年度および31年度「グローバル化に対応した外国語教育推進事業」活動の一環として、研究協力校である5校の高等学校にて12単元分の授業を作成してきた。これらの研究授業の学習指導案は『フランス語の学習指針』に掲載されており、今後は本研究会ホームページでも公開する予定である。

本アトリエでは、既存の学習指導案が今後の授業デザインや授業運営に有用であるかを問いながら、その活用と共有の可能性について参加者とともに考えていく。まず、学習指導案に関するアンケート調査を実施し、参加者一同で学習指導案の位置付けを確認したい。それから発表者らが行った指導案の共有例を紹介する。そして発表者らが作成した学習指導案をもとに、参加者が各自の授業環境に合わせた指導案に改編する個人ワークを実施する。最後に、作業報告と、学習指導案が果たしうる役割や指導案共有の可能性等について参加者の皆さんと意見交換する予定である。